

# 施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	4・2・2	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
②	施策名	開かれた行政サービスの提供					
③	目標	魅力ある地域づくり（地域自治組織活動）に満足している町民の割合					
④	現状と課題	<p>◆ 本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続く、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。</p> <p>◆ 行政に対する町民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るためには、より一層の行政情報の公開が求められています。</p> <p>◆ 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。</p>		施策の内容	町が保有する情報の公開、町の施策や事務事業に係る行政評価の公表、町政懇談会やまちづくり座談会の実施により、行政情報の公開と共有を図り、町民の声を行政運営に反映した開かれた行政を目指します。		

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
町政懇談会やまちづくり座談会の参加者	人	180		200	200	200	200		
			226	249					
行財政改革実施計画における目標達成度	%	78.1		100.0	100.0	100.0	100.0		
			25.0	—					

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	69,899	66,192	73,434	73,503	73,503

## 1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	<p>行政情報の公開と共有を図るため、町の広報紙(年12回)や議会広報紙(年4回)を全世帯に配布した。</p> <p>また、町が業務内容を住民に説明し、住民側の意見を聴く「町政懇談会」を各地区で開催し、住民の要望等を聞いた。</p> <p>さらに、町長が地域の団体等に出向き町政について意見交換を行う「まちづくり座談会」を2回行った。</p> <p>しかし、行財政改革事業の実績検証まで至らなかったことや、行政評価事業の評価表作成が完成まで至らなかったことが反省点である。</p>
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

## 今後の取組

⑩	今後の取組	<p>広報紙の発行を継続するとともに、より多くの住民から意見を聴けるよう、町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法を検討する。</p> <p>また、行財政改革の新たな計画策定に向けた検討を行い、総合計画と連動した計画を策定する。行政改革推進本部設置要綱を見直し、計画の推進に向けた新たな体制を検討・整備する。</p> <p>さらに、行政評価の結果を新年度予算編成へ反映し、また、第五次総合計画の進行管理と実施計画との連動へ繋がるよう、計画的に進める。</p>
---	-------	--

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法を検討しながら、より多くの住民が参加できるようにする。また、新たな行財政改革計画の取り組みを推進することや、行政評価の活用を確実に進めるようにする。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 引き続き、町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法を検討しながら、より多くの住民が参加できるようにすること。また、新たな行財政改革計画の策定を進めるとともに、行政評価の活用を確実に進めるようにすること。